

第2回バリアフリーまち歩き（百道浜地区・赤坂地区）について

1. 目的

障がいがある人をはじめとする利用者や道路管理者等の参加によるまち歩きを行い、生活関連経路のバリアフリー化の整備内容等について意見交換を行った

2. 実施概要

- (1) 日時：平成25年2月25日(月)13:30～16:30
- (2) 実施場所：早良区百道浜～中央区赤坂
※現地までの移動はUDタクシーを利用
- (3) 意見交換会場：中央区役所3階(区長応接室)
- (4) 参加者(計16名)

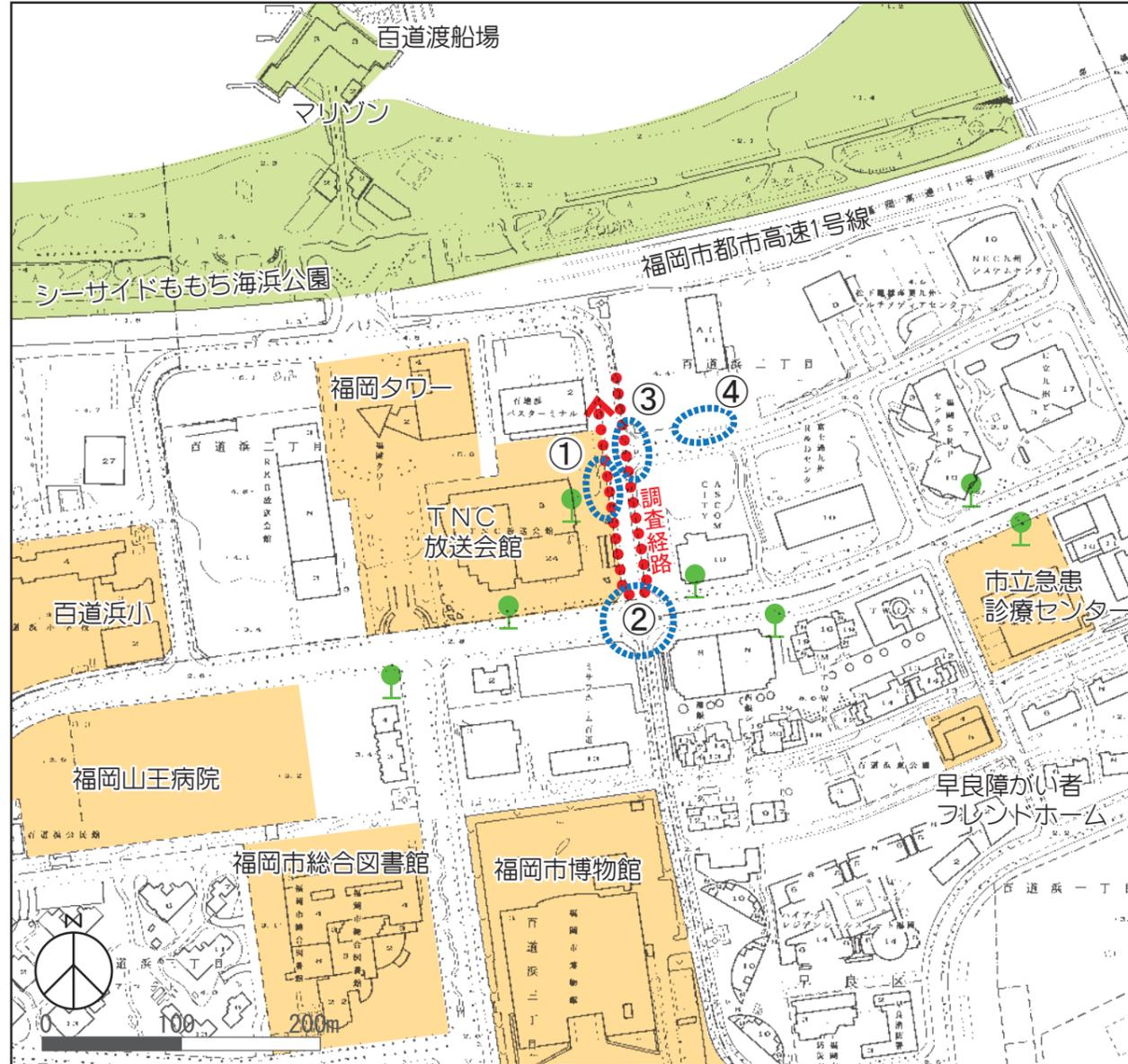
内 訳

利用者（5名）
①社団法人福岡市視覚障害者福祉協会（福岡市バリアフリー推進協議会委員）
②福岡県背髄損傷者連合会福岡支部
③福岡市肢体障がい者福祉協会
道路管理者等（8名）
①道路下水道局 道路計画課
②早良区役所 地域整備課 ほか
事務局（3名）
保健福祉局 政策推進課

3. 利用者からの主な意見

別図のとおり

■まち歩き 百道浜地区（調査結果）



【①バスターミナル出入口付近】

- ・民地側のグレーチングの目が大きく危険（目を細かく）
- ・マンホールが1~2cm上がっている
- ・マンホール蓋のタイルの角が欠けて危ない
- ・舗装止めの破損がひどい



【②TNC放送会館南側交差点】

- ・交差点の歩車道境界に段差がない所があり、歩車道の区別がつかない
- ・交差点部の歩道勾配がきつい
- ・交差点の歩車道境ブロック乗入部の勾配がきつい
- ・レンガ調の舗装は雨の日に滑るのではないか
- ・横断歩道車止めが密でぶつかる（危険）



【全体】

- ・インターロッキングでは、素材のコントラストが弱く、点字ブロックがわかりづらい（アスファルトがよい）
- ・車止めが柔らかい素材だとぶつかっても怪我は少ないので安心感がある
- ・警告ブロックの敷設は、進行方向に直角にしてほしい（交差点切下げ部の警告ブロックが進行方向と向きが異なると誤って道路に飛び出してしまう可能性がある）
- ・点字ブロックは民地側に寄せて自転車とぶつからないようにしてほしい
- ・横断歩道の白い線が雨の日に滑りやすい
- ・舗装の不陸がひどい。平らでないと走行しづらい

【③TNC放送会館東側交差点】

- ・インターロッキングのがたつきがひどい
- ・インターロッキング舗装は、雨に濡れたら滑りやすいのではないか
- ・歩車道きわの勾配がきつい



【④歩道：駐車場入口】

- ・駐車入口、インターロッキングがたつきがひどい



■まち歩き 赤坂地区（調査結果）



・歩道の横断勾配、特に気にはならない
 ・点字ブロックは歩行者動線に合わせた設置が望ましい



【全体】

- ・自転車がが多いので、通行帯を分けるなどの工夫をしてほしい
- ・破損している所は、歩く支障になる
- ・バス停は、マウンドアップしてあった方が乗降しやすく、歩車道の区別がつきやすいのでよい
- ・バス運転手によって停車位置が異なるので指導してほしい（バス停までの点字ブロックの意味がない）
- ・点字ブロックの摩耗が激しい
- ・点字ブロックの色が様々で分かりにくい
- ・ベンガラ色の舗装と点字ブロック（黄色）の組み合わせは、識別しやすい

■今回、移動で利用したUD小型タクシー（飯倉タクシー）※基本的には小型タクシー料金で利用

